

授業科目名： 獣医臨床医科学特論 C (東京農工大学)		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 2 年次後期	授業形態： 講義科目		開講形態： 第 2 副指導教員によるゼミナール形式
授業のテーマ及び到達目標： 講義などにより指導を行い、指導教員の研究分野について一定の広がりとし、深さを持つ知識と技術を教授し、博士論文の作成を支援する。			
授業の概要： 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、獣医臨床医科学講座に所属する第 2 副指導教員の専門的知識を、研究テーマとは直接の関連はない講義科目群として設置。			
授業計画： 獣医臨床医科学講座に所属する指導教員の専門の研究分野について、ゼミナール形式で討議を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマには直接は関連しない研究分野の文献収集・調査方法の指導、研究の進捗状況・成果に対する質疑応答及び博士論文のプロポーザル作成指導を行う。このことを通じて、研究テーマ以外の獣医学に関連する諸問題を分析、評価する能力を養う。 ①講義や演習を補完するような課題文献を指定し、それを読みディスカッションのうえにレポートにまとめるなどのアドバイスと指導を行う。 ②研究テーマとは異なる諸問題に関する情報やデータの収集を指導する。 ③学会発表等での発表に対する準備を指導する。 ④研究プロポーザルの作成を指導する。 (打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン (町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化 (清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物 (田中 知己) 繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜 (田中 綾) 医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術 (西藤 公司)			

皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素

(福島 隆治)

心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物

(井手 香織)

血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境

(大森 啓太郎)

免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬

(岸本 海織)

画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況と態度、ならびに講義内容の理解度などにより総合的に評価する。